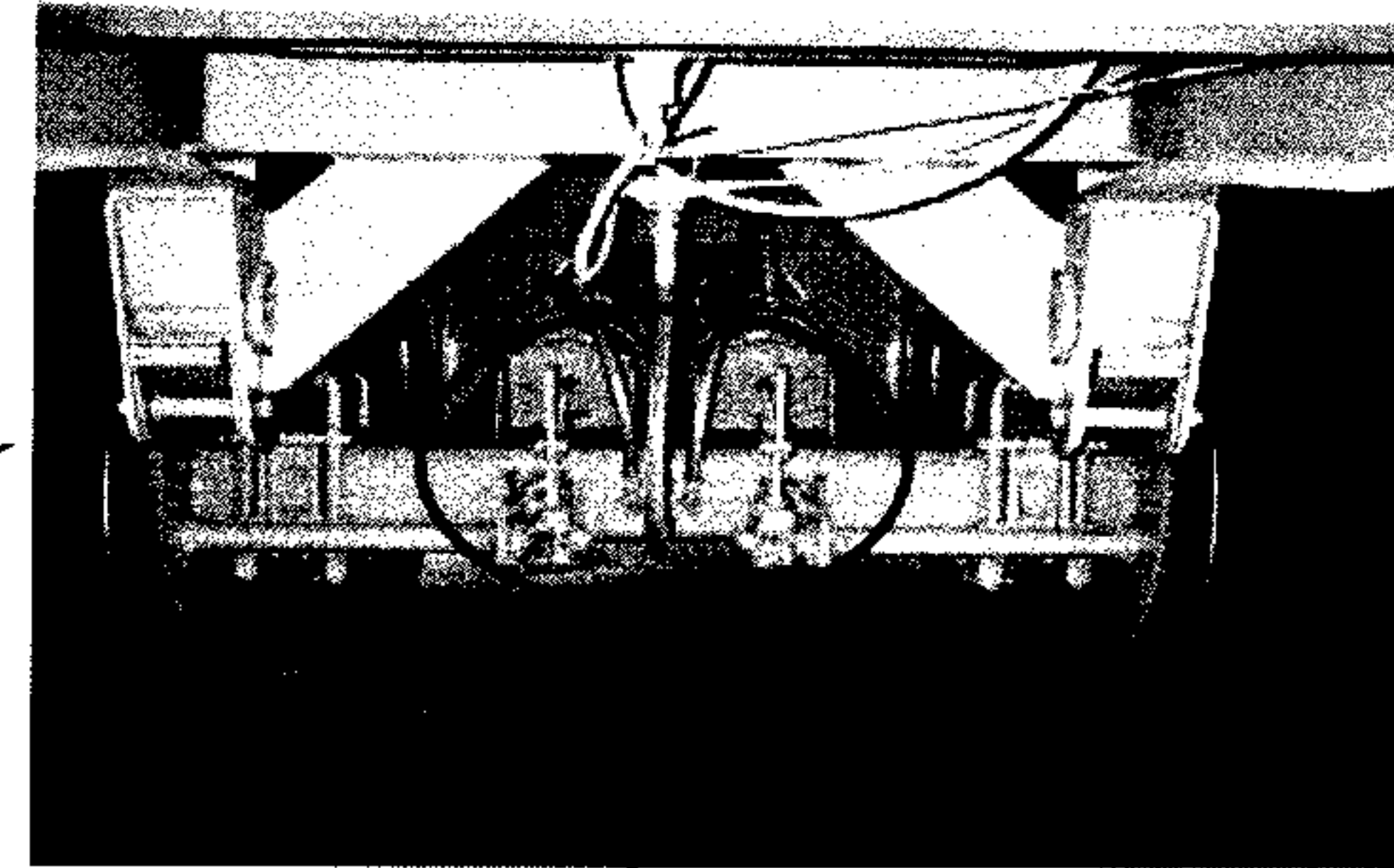
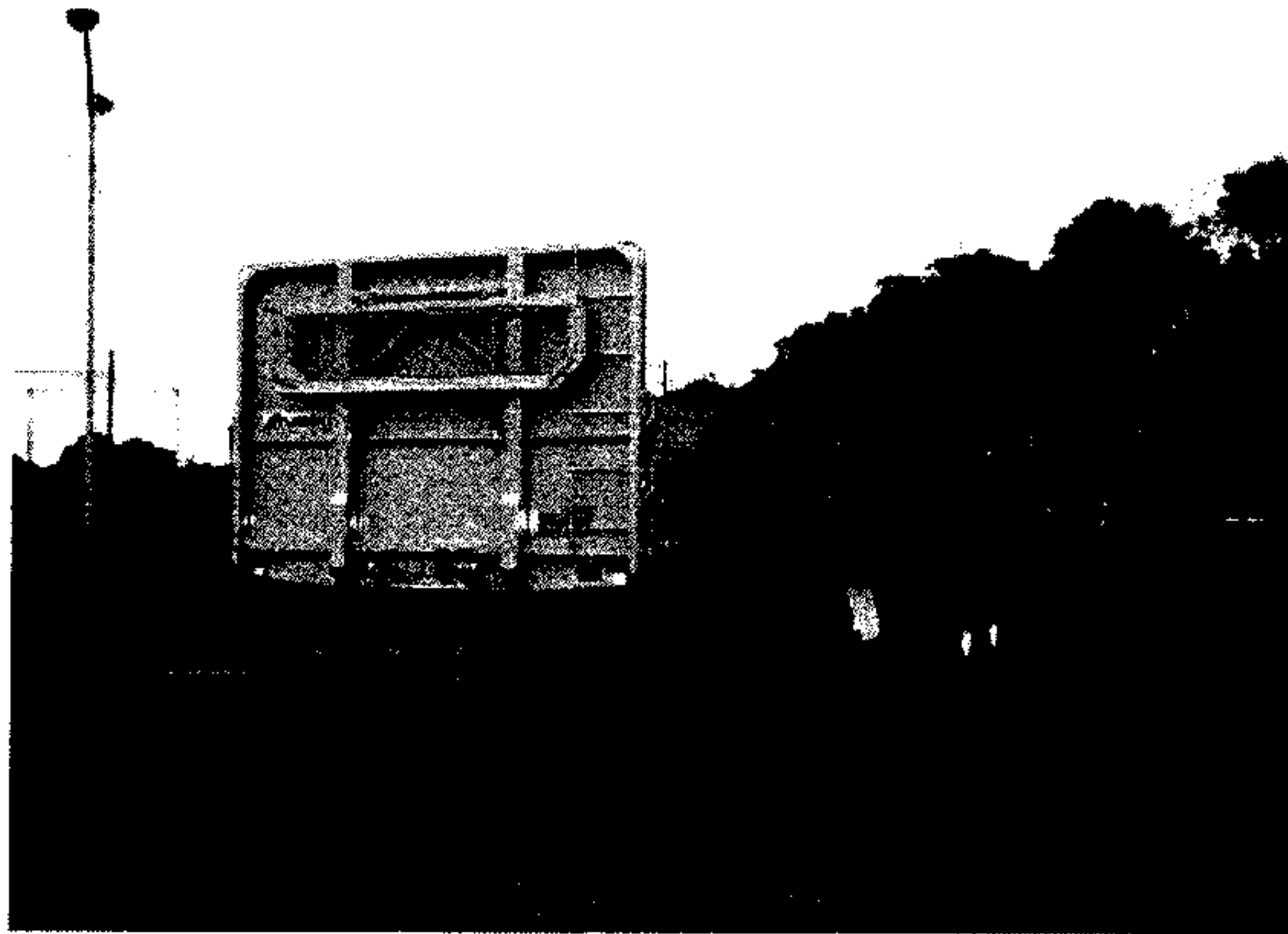


改善箇所説明図



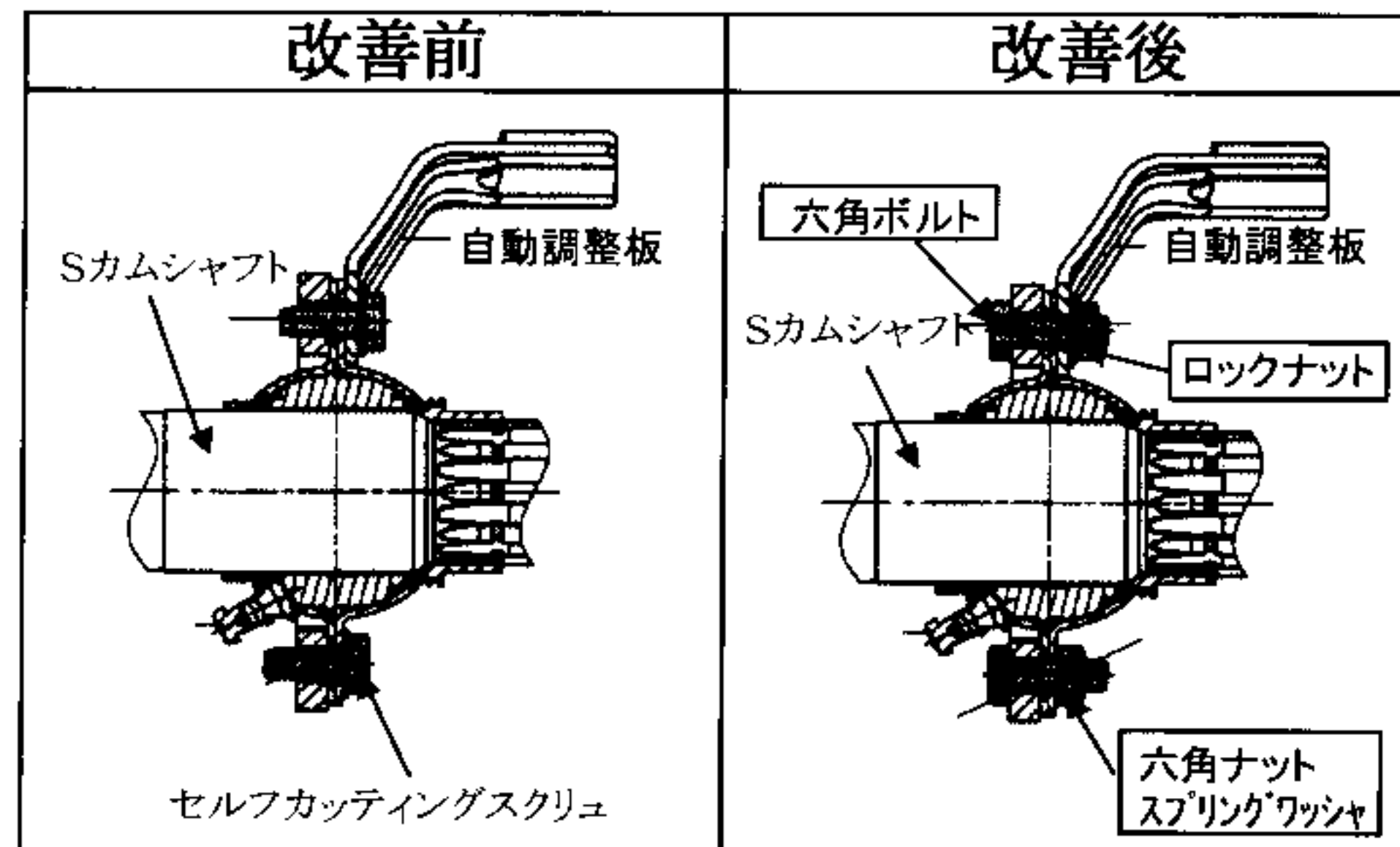
(前側より車軸部を見る)



(フロント側)
(Sカムシャフト、オートマチックスラックアジャスタの固定部)

改善の内容

全車両、セルフカッティングスクリューを対策品(ボルト、ナット)と交換する。



基準不適合発生箇所

注: は交換部品を示す。

ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリューの熱処理が不適切なため、当該スクリューの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリューの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。